

# 記入例

申請書（申請者に関する情報）

協力金 6/1～6/20

様式1

京都府知事 西脇 隆俊 様

(申請日) 令和3年 ● 月 ● 日

受付番号 ※

※受付番号は、記入しないでください。

申請者に関する情報	申請区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人事業主 <small>(※いずれかにチェック)</small>		<input type="checkbox"/> 大企業 <input type="checkbox"/> みなし大企業 <small>(※いずれかにチェック)</small>		<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業等							
	フリガナ	カブシキカイシャ ○○○○○○○○○											
	法人名	株式会社 ○○○○○											
	フリガナ	○○○○○○○											
	【法人】代表者役職・氏名 【個人】氏名	代表取締役社長 ○○○○											
	法人代表者・個人 生年月日	S:昭和	H:平成	35	年	2	月	1	日				
	【法人】所在地 【個人】自宅住所	〒	6	0	2	8	5	7	0	京都	都・道・府・県	京都	市・区・町・村
		上京区○○通○○西入○○町11-11 ○○ビル3階 ※番地や建物名まで記載してください											
	電話番号	075-○○○-○○○○				担当者名	○○○○						
	担当者電話番号	075-○○○-△△△△				連絡先 メールアドレス	aaaaa@aaaaaaaa.co.jp						
常時使用する 従業員数(人)	25		人		資本金額※	10,000,000			円				
法人番号※	99999999999999												

※資本金額及び法人番号は、申請者が法人の場合に記入してください。

申請する店舗数	2	店舗
---------	---	----

※様式1-1に、施設ごとの情報を記載してください。

法人名又は 個人事業主名	株式会社 ○○○○	<b>記入例</b>
-----------------	-----------	------------

↓該当するものに必ずチェックしてください。4期の申請をされた方は4で始まる7桁の受付番号を記載してください。		対象地域
<input type="checkbox"/> 本施設は、(1)感染症拡大防止協力金(令和2年12月21日～令和3年1月11日)に申請済みです。		京都市内
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(2)感染症拡大防止協力金(令和3年1月12日、1月13日)に申請済みです。		京都市内
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(3)緊急事態措置協力金(令和3年1月14日～2月7日)に申請済みです。		京都府全域
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(4)緊急事態措置協力金(令和3年2月8日～2月28日)に申請済みです。	4 0 1 2 3 4 5	京都府全域
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(5)感染症拡大防止協力金(令和3年3月1日～3月14日)に申請済みです。		京都府全域※1
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(6)感染症拡大防止協力金(令和3年3月15日～3月21日)に申請済みです。		京都市内
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(7)感染症拡大防止協力金(令和3年4月5日～4月24日)に申請済みです。		京都市内※2、 山城・乙訓地域
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(8)まん延防止等重点措置協力金(令和3年4月12日～4月24日)に申請済みです。		京都市内
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(9)緊急事態措置協力金(令和3年4月25日～5月11日)に申請済みです。		京都府全域
<input checked="" type="checkbox"/> 本施設は、(10)緊急事態措置協力金(令和3年5月12日～5月31日)に申請済みです。		京都府全域
<input type="checkbox"/> 本施設は、上記協力金のいずれにも申請を行っていません。		※1 京都市以外は3/7まで ※2 京都市内は4/11まで

フリガナ	レストランサンカク		
施設名称 (店舗名等)	レストラン△△△△		
営業許可番号	京保セ第○○○号	営業許可証の有効期限	(元号) 令和3年8月31日
所在地	〒 0 0 0 0 0 0 0 0	京都府	施設コード (P7参照)
	○○区○○町○○番地 ○○○ビル○階101		1 1 0 1
※番地、ビル名、階、部屋番号まで記載してください。		飲食店	
施設電話番号	075-0000		
※施設の種類を具体的に記入してください。			

**休業要請等の対応状況**

施設の休止(休業)
  営業時間の短縮(午前5時から午後8時まで)

休業要請等に対応した日数及び営業時間																					
6月																					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	協力日数	短縮後の営業時間
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	17 日	11:00～20:00
○	○	○	定	○	○	○	○	○	○	定	○	○	○	○	○	○	定	○	○		

休業要請等(休業又は時短営業)に応じた日に「○」、定休日等の店休日に「定」を記入してください。もともと20時までに閉店する日は空欄にしてください。「○」の合計数を協力日数欄に記入してください。

前年(6/2～6/21)又は前々年(6/4～6/23)の営業日数等

営業日数	定休曜日	通常の営業時間
17 日	金 曜日	11:00～21:00

前年(6/2～6/21)又は前々年(6/4～6/23)の期間中における営業日数を記入してください。

6月1日(火)から時短要請に応じることが困難な場合は、その事情を以下の記載欄に記載してください。

記載欄	
-----	--

前年(6/2～6/21)又は前々年(6/4～6/23)と要請期間の営業日数が異なる場合には、理由書(様式4)を提出してください。

理由書(様式4)を提出します。

複数施設(店舗)を申請する場合、「様式1-1」をコピーして各施設(店舗)に関する情報(1施設(店舗)につき1枚ずつ)【注意】を記入してください。添付書類(「別表2」⑦～⑭)の表紙として使用し、1施設(店舗)ごとに提出書類をまとめて提出するようにしてください。「○○屋四条店」など、どの施設(店舗)が分かるように記載してください。

P11「協力金支給額フローチャート」【1】の場合

記入例

支給額は1日当たり4万円です。

$$40,000 \text{ 円} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{休業要請等協力日数} \\ \hline 17 \text{ 日} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗の支給額} \\ \hline 680,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

P11「協力金支給額フローチャート」【2】の場合（売上高方式）

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

※ p11「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年又は令和元年の6月の売上高計} \\ \hline \text{① } 5,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \div 30 \text{ 日} = \begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年又は令和元年の6月の1日当たり売上単価} \\ \hline \text{② } 166,667 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{②で算出された売上単価} \\ \hline \end{array} \times 0.4 = \begin{array}{|c|} \hline \text{千円未満切上げ前の支給単価} \\ \hline \text{③ } 66,667 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \xrightarrow{\text{千円未満切上}} \begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{④ } 67,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \quad \text{※最大10万円}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{④ } 67,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{休業要請等協力日数} \\ \hline \text{⑤ } 17 \text{ 日} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗の支給額} \\ \hline \text{⑥ } 1,139,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

P11「協力金支給額フローチャート」【3】の場合（売上高減少額方式）

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和2年又は令和元年の6月の売上高} \\ \hline \text{① } 10,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline \text{令和3年6月の売上高計} \\ \hline \text{② } 2,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{令和3年6月の売上高減少額} \\ \hline \text{③ } 8,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※ p11「協力金支給額フローチャート」の飲食部門における1日当たりの売上高減少額が25万円を超えるか確認してください。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{令和3年6月の売上高減少額} \\ \hline \text{③ } 8,000,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \div 30 \text{ 日} = \begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり売上高減少単価} \\ \hline \text{④ } 266,667 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{④で算出された売上高減少単価} \\ \hline \end{array} \times 0.4 = \begin{array}{|c|} \hline \text{千円未満切上げ前の支給単価} \\ \hline \text{⑤ } 106,667 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \xrightarrow{\text{千円未満切上}} \begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{⑥ } 107,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \quad \text{※最大20万円}$$

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{1日当たり支給単価} \\ \hline \text{⑥ } 107,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{休業要請等協力日数} \\ \hline \text{⑦ } 17 \text{ 日} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{当該店舗の支給額} \\ \hline \text{⑧ } 1,819,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

月別売上高が分からない場合、年間売上高を用いて申請することもできます。

P11「協力金支給額フローチャート」【2】の場合(売上高方式) **記入例**

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

いずれかに○をつけてください。(令和2年2月29日が含まれる場合は366日)

令和2年又は令和元年の年間売上高計 ① 60,000,000 円	÷	365日 366日	=	令和2年又は令和元年の1日当たり売上単価 ② 164,384 円
-------------------------------------	---	--------------	---	-------------------------------------

※ p11「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。

②で算出された売上単価 × 0.4 =	千円未満切上げ前の支給単価 ③ 65,753 円	千円未満切上	1日当たり支給単価 ③ 66,000 円
---------------------	-----------------------------	--------	-------------------------

※最大10万円

1日当たり支給単価 ③ 66,000 円	×	休業要請等協力日数 ④ 17 日	= 当該店舗の支給額 ⑤ 1,122,000 円
-------------------------	---	---------------------	-----------------------------

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

P11「協力金支給額フローチャート」【3】の場合(売上高減少額方式)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

いずれかに○をつけてください。(令和2年2月29日が含まれる場合は366日)

令和2年又は令和元年の年間売上高計 ① 120,000,000 円	÷	365日 366日	=	令和2年又は令和元年の1日当たり売上高 ② 327,868 円
--------------------------------------	---	--------------	---	------------------------------------

令和3年6月の売上高計 ③ 1,000,000 円	÷	30 日	=	令和3年6月の1日当たり売上高 ④ 33,333 円
------------------------------	---	------	---	-------------------------------

令和2年又は令和元年の1日当たり売上高 ② 327,868 円	-	令和3年6月の1日当たり売上高 ④ 33,333 円	= 1日当たり売上高減少額 ⑤ 294,535 円
------------------------------------	---	-------------------------------	------------------------------

1日当たり売上高減少額 ⑤ 294,535 円	×	0.4	=	千円未満切上げ前の支給単価 ⑥ 117,814 円
----------------------------	---	-----	---	------------------------------

※ p11「協力金支給額フローチャート」の飲食部門における1日当たりの売上高減少額が25万円を超えるか確認してください。

千円未満切上	1日当たり支給単価 ⑦ 118,000 円	※最大20万円
--------	--------------------------	---------

1日当たり支給単価 ⑦ 118,000 円	×	休業要請等協力日数 ⑧ 17 日	= 当該店舗の支給額 ⑨ 2,006,000 円
--------------------------	---	---------------------	-----------------------------

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

令和2年6月2日以降に開店した店舗については、開店日から令和3年5月31日までの売上高を用いて申請することもできます。

開店日： 令和 2年 7月 1日 記入例

P11「協力金支給額フローチャート」【2】の場合(売上高方式)

**支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。**

① 開店日から令和3年5月末までの売上高 <b>45,000,000 円</b>	÷	①の日数 <b>335 日</b>	=	② 開店日以降の1日当たり売上単価 <b>134,328 円</b>
※ p11「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。 開店日から令和3年5月末までの日数を記入してください。				
②で算出された売上単価 × 0.4 =	③ 千円未満切上げ前の支給単価 <b>53,731 円</b>	千円未満切上	③ 1日当たり支給単価 <b>54,000 円</b>	※最大10万円
③ 1日当たり支給単価 <b>54,000 円</b>	×	④ 休業要請等協力日数 <b>17 日</b>	=	⑤ 当該店舗の支給額 <b>918,000 円</b>
※様式1-1に記載の日数				
<input checked="" type="checkbox"/> 上記内容で申請します。				

P11「協力金支給額フローチャート」【3】の場合(売上高減少額方式)

**支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。**

① 開店日から令和3年5月末までの売上高 <b>100,000,000 円</b>	÷	①の日数 <b>335 日</b>	=	② 開店日以降の1日当たり売上高 <b>298,507 円</b>
開店日から令和3年5月末までの日数を記入してください。				
③ 令和3年6月の売上高計 <b>1,000,000 円</b>	÷	30 日	=	④ 令和3年6月の1日当たり売上高 <b>33,333 円</b>
② 開店日以降の1日当たり売上高 <b>298,507 円</b>	-	④ 令和3年6月の1日当たり売上高 <b>33,333 円</b>	=	⑤ 1日当たり売上高減少額 <b>265,174 円</b>
⑤ 1日当たり売上高減少額 <b>265,174 円</b>	×	0.4	=	⑥ 千円未満切上げ前の支給単価 <b>106,070 円</b>
※ p11「協力金支給額フローチャート」の飲食部門における1日当たりの売上高減少額が25万円を超えるか確認してください。				
↓ 千円未満切上				
⑦ 1日当たり支給単価 <b>107,000 円</b>				
※最大20万円				
⑦ 1日当たり支給単価 <b>107,000 円</b>	×	⑧ 休業要請等協力日数 <b>17 日</b>	=	⑨ 当該店舗の支給額 <b>1,819,000 円</b>
※様式1-1に記載の日数				
<input checked="" type="checkbox"/> 上記内容で申請します。				